

さん
ぱう

さん ぱう

三方よし とくせき めいば



つまり三方よしとは「商いは、自らの利益のみならず、買ひ手である顧客はもちろん、世の中にとっても良いものであるべきだ」という現代の経営哲学にも通じる考え方で、日常生活においては「自分のことばかりではなく、相手はもちろん、みんなが良くなるために」という思いに掛け置き換えられる大切な考え方なのです。

三方よしを世界に広める会では、このすばらしき三方よしの考えをより多くの方々に知つていただき、世の中が少しでも良くなることを願つて活動していきます。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

江戸から明治にかけて活躍した近江商人。彼らは「売り手よし」「買ひ手よし」「世間よし」とこの「三方よし」の精神を大切にし、自らの利益のみを求めることが多くなった人に喜ばれる商品を提供し続け、さりに社会貢献として、橋や学校建築に寄付したりと世の為にも大いに貢献しました。

三方よしつ何?

三方よしを世界に

検索

www.sanpoyoshi.net